

京坂日報
酒白鶴
京坂

支那が承かねば 最後は自衛手段

芳澤公使に訓電を發して

日本の單獨通牒

【東京電】支那の單獨通牒に對する日本の單獨通牒は、五箇箇の損害賠償を請求する。支那が承かねば、最後は自衛手段を講ずる。支那が承かねば、最後は自衛手段を講ずる。支那が承かねば、最後は自衛手段を講ずる。

列國の要求を 大體容認す

國民軍側の回答

【北京電】大體容認す。國民軍側の回答。列國の要求を大體容認す。國民軍側の回答。列國の要求を大體容認す。國民軍側の回答。

驅逐艦射撃は 支那側の誤解

日本總領事の聲明

【東京電】驅逐艦射撃は支那側の誤解。日本總領事の聲明。驅逐艦射撃は支那側の誤解。日本總領事の聲明。

伊太利の愛國詩人 ダナンチ才病篤し

僅がれの日本訪問の雄圖も
空しく精神錯亂か



閣僚總がよりて 公正會に懇談す

郡役所廢止案に對する
貴院の雲行あるし

【東京電】閣僚總がよりて公正會に懇談す。郡役所廢止案に對する貴院の雲行あるし。閣僚總がよりて公正會に懇談す。

貴院本會議 十四年度追加豫算 原案可決確定す

【東京電】貴院本會議。十四年度追加豫算原案可決確定す。貴院本會議。十四年度追加豫算原案可決確定す。

松島遊廊事件の 平渡姿をかくす

政黨方面にバラまかれた
金が大枚四十三萬圓

【東京電】松島遊廊事件の平渡姿をかくす。政黨方面にバラまかれた金が大枚四十三萬圓。松島遊廊事件の平渡姿をかくす。

朝鮮總督府の 追加豫算可決

總額二百三萬四千圓

【東京電】朝鮮總督府の追加豫算可決。總額二百三萬四千圓。朝鮮總督府の追加豫算可決。

水害復舊費 兩院を通過す

【東京電】水害復舊費。兩院を通過す。水害復舊費。兩院を通過す。

我が守備隊陣地に 砲彈盛んに落下す

奉天瀋陽砲擊猛烈

【天津電】我が守備隊陣地に砲彈盛んに落下す。奉天瀋陽砲擊猛烈。我が守備隊陣地に砲彈盛んに落下す。

獨逸の加盟延期 九月の總會まで

【東京電】獨逸の加盟延期。九月の總會まで。獨逸の加盟延期。九月の總會まで。

鐵道局の 老ぼれ官舎 移轉問題から局員と 附近民が角のつき合

【東京電】鐵道局の老ぼれ官舎。移轉問題から局員と附近民が角のつき合。鐵道局の老ぼれ官舎。

對山録

【東京電】對山録。對山録。對山録。

伊首相へ 日本刀 小笠原子等 から贈呈

【東京電】伊首相へ日本刀。小笠原子等から贈呈。伊首相へ日本刀。

制定さるゝ 王公家規範

帝室制度審議會に
諮問して目下審理中

【東京電】制定さるゝ王公家規範。帝室制度審議會に諮問して目下審理中。王公家規範。

鮮展番査員 内地側内定

【東京電】鮮展番査員。内地側内定。鮮展番査員。

あすの天気 九月九日

最高気温	十八度
最低気温	十六度
天気	曇一時晴
湿度	四四・四九・五五



七曜の劍

渡邊默禪作

一人の劍士が死ななう。七曜の劍。渡邊默禪作。

【東京電】七曜の劍。渡邊默禪作。七曜の劍。渡邊默禪作。

手術後廿日で 盲目の眼が見える

角膜の入れ替に成功した
北海道大学の越智博士

「盲人の眼を治す」というのは、人類の最も古くからの夢の一つである。盲人の眼を治すには、角膜の入れ替が必要である。北海道大学の越智博士は、この夢を実現するために、角膜の入れ替に成功した。手術後二十日、盲人の眼が見えるようになった。これは、人類の歴史において、最も重要な発見の一つである。越智博士は、この発見を、盲人の救済のために、積極的に活用しようとしている。盲人の眼を治すことは、盲人の生活に大きな影響を与える。越智博士の発見は、盲人の生活に大きな希望をもたらしている。

朝鮮でも 眼があらいた

新発見でもない
早野博士の話

「朝鮮でも眼があらいた」というのは、早野博士の話である。早野博士は、朝鮮でも眼があらいたという事実を報告した。これは、早野博士の発見である。早野博士は、この発見を、朝鮮の盲人の救済のために、積極的に活用しようとしている。早野博士の発見は、朝鮮の盲人の生活に大きな希望をもたらしている。

蓋をされた 赤い顔の文士

日本人との面談を一切
拒否されたつむしをまく
ピリニヤツク夫妻

「日本人との面談を一切拒否されたつむしをまくピリニヤツク夫妻」というのは、ピリニヤツク夫妻の話である。ピリニヤツク夫妻は、日本人との面談を一切拒否した。これは、ピリニヤツク夫妻の意志である。ピリニヤツク夫妻は、この意志を、日本人との面談を一切拒否することによって、表現している。



嬰兒殺しの公判に涙ぐむ女学生達

市外電話の

「市外電話の利用は、非常に便利である。市外電話を利用することで、遠く離れた場所と簡単に連絡を取ることができる。市外電話の利用は、ビジネスやプライベートの両方で、非常に役立つ。市外電話の利用は、現代社会において、不可欠なツールである。」

丁抹機

伯林出發

「丁抹機は、非常に便利な機械である。丁抹機を利用することで、作業が非常に楽になる。丁抹機は、工業や農業の両方で、非常に役立つ。丁抹機は、現代社会において、不可欠なツールである。」

一機レ市着

「一機レ市着は、非常に便利な機械である。一機レ市着を利用することで、作業が非常に楽になる。一機レ市着は、工業や農業の両方で、非常に役立つ。一機レ市着は、現代社会において、不可欠なツールである。」



聯盟相模見物中の吉田進良翁（右から八目）

教師に刺打されて 不具の少年重態

撲つた上足蹴にまてかけた
牧の島校の風暴教員

「教師に刺打されて不具の少年重態」というのは、牧の島校の風暴教員の話である。牧の島校の風暴教員は、教師に刺打された。これは、牧の島校の風暴教員の行為である。牧の島校の風暴教員は、この行為を、教師に刺打することによって、表現している。

職業婦人を 養成する学校

京域女子実業学校
四月から開校する

「職業婦人を養成する学校」というのは、京域女子実業学校の話である。京域女子実業学校は、職業婦人を養成する学校である。京域女子実業学校は、四月から開校する。京域女子実業学校は、この学校を、職業婦人を養成することによって、表現している。

女学生達も 貫ひ泣した

眞信女学校生徒の
嬰兒殺し公判見學

「女学生達も貫ひ泣した」というのは、眞信女学校生徒の話である。眞信女学校生徒は、女学生達も貫ひ泣した。これは、眞信女学校生徒の行為である。眞信女学校生徒は、この行為を、女学生達も貫ひ泣することによって、表現している。

問題の三瓶主計 検事局に現はる

告訴事件で打合せ
京東警察署と検事局

「問題の三瓶主計検事局に現はる」というのは、京東警察署と検事局の話である。京東警察署と検事局は、問題の三瓶主計検事局に現はる。これは、京東警察署と検事局の行為である。京東警察署と検事局は、この行為を、問題の三瓶主計検事局に現はることによって、表現している。

門司の放火は 少女の仕業

又十七日夜放火し
廿数戸焼く

「門司の放火は少女の仕業」というのは、門司の話である。門司は、門司の放火は少女の仕業。これは、門司の行為である。門司は、この行為を、門司の放火は少女の仕業することによって、表現している。

爆弾を投ぐ 音戸丸の椿事

仲仕三名負傷す

「爆弾を投ぐ音戸丸の椿事」というのは、音戸丸の話である。音戸丸は、爆弾を投ぐ。これは、音戸丸の行為である。音戸丸は、この行為を、爆弾を投ぐすることによって、表現している。

朝鮮博披露

昨夜ホテルで

「朝鮮博披露」というのは、朝鮮博の話である。朝鮮博は、昨夜ホテルで。これは、朝鮮博の行為である。朝鮮博は、この行為を、昨夜ホテルですることによって、表現している。

船賃はいくらぬ

米國の船會社
米國の船會社

「船賃はいくらぬ」というのは、米國の船會社の話である。米國の船會社は、船賃はいくらぬ。これは、米國の船會社の行為である。米國の船會社は、この行為を、船賃はいくらぬすることによって、表現している。

琉球がうけた

米國の船會社

「琉球がうけた」というのは、米國の船會社の話である。米國の船會社は、琉球がうけた。これは、米國の船會社の行為である。米國の船會社は、この行為を、琉球がうけたすることによって、表現している。

列車衝突を 企む驛員

物騒な好奇性の男
検事局へ送らる

「列車衝突を企む驛員」というのは、驛員の話である。驛員は、列車衝突を企む。これは、驛員の行為である。驛員は、この行為を、列車衝突を企むすることによって、表現している。

犯人は

検事局へ送らる

「犯人は」というのは、犯人の話である。犯人は、検事局へ送らる。これは、犯人の行為である。犯人は、この行為を、検事局へ送らるすることによって、表現している。

けふの放火

又十七日夜放火し
廿数戸焼く

「けふの放火」というのは、放火の話である。放火は、又十七日夜放火し。これは、放火の行為である。放火は、この行為を、又十七日夜放火しすることによって、表現している。

荷役中の汽船に 爆弾を投ぐ

仲仕三名負傷す

「荷役中の汽船に爆弾を投ぐ」というのは、汽船の話である。汽船は、荷役中の汽船に爆弾を投ぐ。これは、汽船の行為である。汽船は、この行為を、荷役中の汽船に爆弾を投ぐすることによって、表現している。

音戸丸の椿事

仲仕三名負傷す

「音戸丸の椿事」というのは、音戸丸の話である。音戸丸は、音戸丸の椿事。これは、音戸丸の行為である。音戸丸は、この行為を、音戸丸の椿事することによって、表現している。

京模範商店

京模範商店

「京模範商店」というのは、京模範商店の話である。京模範商店は、京模範商店。これは、京模範商店の行為である。京模範商店は、この行為を、京模範商店することによって、表現している。

丸一呉服店

丸一呉服店

「丸一呉服店」というのは、丸一呉服店の話である。丸一呉服店は、丸一呉服店。これは、丸一呉服店の行為である。丸一呉服店は、この行為を、丸一呉服店することによって、表現している。

日本大学

日本大学

「日本大学」というのは、日本大学の話である。日本大学は、日本大学。これは、日本大学の行為である。日本大学は、この行為を、日本大学することによって、表現している。

理料京北

理料京北

「理料京北」というのは、理料京北の話である。理料京北は、理料京北。これは、理料京北の行為である。理料京北は、この行為を、理料京北することによって、表現している。

内地人看守募集

内地人看守募集

「内地人看守募集」というのは、内地人看守募集の話である。内地人看守募集は、内地人看守募集。これは、内地人看守募集の行為である。内地人看守募集は、この行為を、内地人看守募集することによって、表現している。

朝鮮總督府刑務官練習所

朝鮮總督府刑務官練習所

「朝鮮總督府刑務官練習所」というのは、朝鮮總督府刑務官練習所の話である。朝鮮總督府刑務官練習所は、朝鮮總督府刑務官練習所。これは、朝鮮總督府刑務官練習所の行為である。朝鮮總督府刑務官練習所は、この行為を、朝鮮總督府刑務官練習所することによって、表現している。

機麥米精ルナヨシナ

機麥米精ルナヨシナ

「機麥米精ルナヨシナ」というのは、機麥米精ルナヨシナの話である。機麥米精ルナヨシナは、機麥米精ルナヨシナ。これは、機麥米精ルナヨシナの行為である。機麥米精ルナヨシナは、この行為を、機麥米精ルナヨシナすることによって、表現している。

入院 芦刈

入院 芦刈

「入院 芦刈」というのは、入院 芦刈の話である。入院 芦刈は、入院 芦刈。これは、入院 芦刈の行為である。入院 芦刈は、この行為を、入院 芦刈することによって、表現している。

運動具・服装類は

運動具・服装類は

「運動具・服装類は」というのは、運動具・服装類の話である。運動具・服装類は、運動具・服装類。これは、運動具・服装類の行為である。運動具・服装類は、この行為を、運動具・服装類することによって、表現している。

一年廿五六萬圓產出

意嚮で あるといは

はれてゐるものは、白皮が最も
他は黒皮、赤皮、斑皮等
者にはニューヨーク、シヤト
輸出され最近一ヶ年におい

産地は 殆ど全國にわた
てゐるがなかんづく、
長野、愛
後者は三萬石程度の銅皮を
てゐるが、將來は、外資向

模様の

蘭館の如きはそて大荷出荷最
 多、鑛産を産め、農林省調査に基づ
 く、同市販賣場施所の財源へによる
 最、最近一ヶ年間の出荷増別

今年の春の中心地色は春が
 あけほの、芽生、ときわ、

出荷地別
長野縣
白皮
雜皮
計
○黄色の系統　とき

[illegible]

相樹の如きも今十五年一、二月に
おいて、白皮平均一町三十畧乃至
一町六十畧、雑皮七十畧以上で、
それから外に彩霞樹とい

るから、上記枚数価格は、約三十五六萬圓に達するもので、一般農家の購買としては飼育の簡便とが分る點が好適なものとして向後、將來相當に喜ばれるであらう。

色は灰かな薄色
糸はすべて細糸

「おれははじめましたが、全盛に
向きの子供御子やシヤケツマ、オ
グア一、或はショール等に毛
毳品が纏々かなるの象手と
して、その牽合の手糸かと
し、いろいろを寄せて毛糸店
除、張師は作信知先生が、左股ぬめ
順便易に『雲霧の膝』なるも
ものぞれたでらる。今こ

新刊 智恵

を願く多くの家庭に紹介しよう

各巻 二角

べて色の種類はさして變りは
ませんが、ほのかに薄い色が

なり、顔色よくどきどき赤や青
なれば病にふくなりたり。その
字の筆の軌子にならぬなり。た
みのあるモールとて、配の整しい
セタシタル等類でありませう。
セタテ用としてはいへい
やアサトラカ理用はのせいで
にはベロトなどといひ、等の疾

ゑんがくにうち勝ちて
直なるを生ひ習つ
間なきを鑑にもぞ
これば人の賜もぞ
◆察の影 影の賜も上
よきて、よき操生ひ立ちて
外國より來くとなり

シルクやビーズ、ハイブ等は上
おもむきの物が出来、和製の
らん毛糸や、モールではあた

くて、疾かにシロールが出来ます。寒人よりはコンロンヤの出来等、脂滑にこしらへると何々肌で、わが好子は、すべて褐色のクリームが麗しく、鮮ましい物が出来ます。

「**レンデ**」 鼠、**ローズ**、淺黄、海にかつた物等とりぐであり

これ皆紫菜の胞子
●**卵配** 食歳の卵巣
肉配 具夏は
蛋器種とて肉なる
芋と雞肝 卵配は
含水素素と云へられ
脂肪と共に燃え易く

まで、ボタニールク、コロ
ヤは最高級品として八圓五十
であります。

傾向
て自然色から
は光淋風が大歓迎
無罪です。傾向は一すべに罪

愛別の

のなきまじし人生の哀愁は
に、凱陣小説の戦士魂をのり
臨につき、かねて作者が衝

のが、少し進んで徳川末期の
とつたといふだけで日本鑑

[illegible]

で幾日位かゝるでせうか（公

扶安(都何生)
いやはや若輩(わが輩)かも知れませんが
なまの春に陰(かげ)に暴炎(ぼうえん)のやう
なものを你(あなた)に染(しみ)せるやう
いでせうか、治癒(ちよ)は人により異
にして一定(いちてい)するまじが余(われ)永
を遠(とほ)く、以(もつ)て服(はく)津(つ)湯(ゆ)十分

○第五節、營養食
より食物を人間は

豪華の珍珠質なま
 びの低き品々に
 榮盛あるもの數知れず
 多くの肉の中にても
 遠近は殊に優れたり
 けし、堅固、やう、
 密

雪の 雲
 御殿たけを
 多頭につられてかきの消滅
 口切りし装賀や多頭
 華潤や眞似すれかはしめ
 きたなや或は高きまをく
 家などて常習にやむすの辱

○第六節、經濟野菜
豆、納豆、味噌、豆粉
豆、肉の代用なれ

美し
まいど飾

平壤陳列所で
圖案を引受るもの

「平壤」平壤の作品品類別では、
植物・動物・神祇の同題では、
植物・動物・神祇の同題では、

の第一節飾米
一粒にましまし

小中諸君へ、平壤へ
の意味と趣意を兼ねうべし
お上り御願いに心して
御採用さめ工夫せよ
貯蔵の道を解つて
天の恩を無益にす。

米を用ゆる術を知り
米乏しくば憂ふはみ

麥、そば、きり、糊にいも
はみで製らん膳類
※赤き血饅とかきたる旨

○第八節 食 糧

一つの食にかたくなな
若きは甚だ多し

皮、生動物せとり

に懸ける事となつたがこの種例の
國家料理は可なり暇い飯附に
よんでシロツウィンドへの製
膳客等へ送受る事と爲つてをり
金も甲乙の内三都に分れば二
万五千圓といふ一應所至ニ内は
銀以上一躍までと爲つてある

招 徠

「紙獅に腰懸されてるまゝ。近く本館の端端を待つ。本館は更
假島の文化の中心。太宰府を鑑たせるために、肥後・肥前の小
とら、いよく紙獅作家中で、近來その留學と人生擔當に最も

十字路 山中峰太郎作
細木原青起畫

かつて京城日報社
は、四月初頭から、

を破くしましたが、全治迄ぬので
龍胆の根を乾燥し、炭になりまし
て、また六、七、八、九、十、十一、
十二、十三、十四、十五、十六、
十七、十八、十九、二十、二十一、
二十二、二十三、二十四、二十五、
二十六、二十七、二十八、二十九、
三十、三十一、三十二、三十三、
三十四、三十五、三十六、三十七、
三十八、三十九、四十、四十一、
四十二、四十三、四十四、四十五、
四十六、四十七、四十八、四十九、
五十、五十一、五十二、五十三、
五十四、五十五、五十六、五十七、
五十八、五十九、六十、六十一、
六十二、六十三、六十四、六十五、
六十六、六十七、六十八、六十九、
七十、七十一、七十二、七十三、
七十四、七十五、七十六、七十七、
七十八、七十九、八十、八十一、
八十二、八十三、八十四、八十五、
八十六、八十七、八十八、八十九、
九十、九十一、九十二、九十三、
九十四、九十五、九十六、九十七、
九十八、九十九、一百、

また八本必ずしも完全では
ません、淋病は梅毒の治療
なからぬから別にやらなけ

なりませぬ(総務科・整形外科科)

問 秘は今年二十九歳になる
男子ですが五年前からさん丸が
年中水のように冷えて汗が出て
腫れ、フンドシがぬれる程です

知らせがありました

研生に續きには淋病のそ
う徴候にあるコウバコの果
を脱してふでにて肛門へか
な陰瘻する事が出来る旨

消化不良に因る總ての胃腸疾患に

専賣特許 高峰博士發見 (内外醫家の實驗用店進呈上)
東京宝町 三共株式會社 大阪・臺北・紐育

懷中藥仁丹
仁丹ハ三カキ
仁丹の体温計

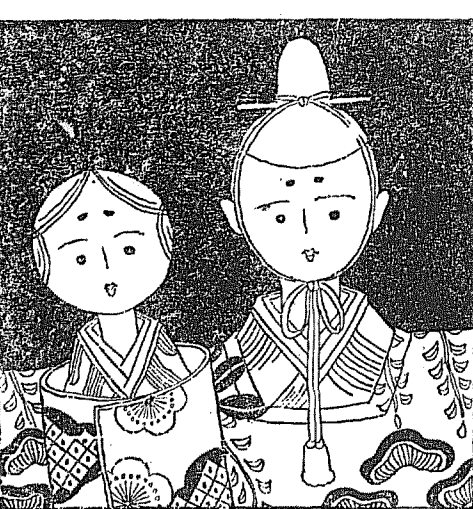
解毒下劑



七醫聖士
合同處方

白菊一口上

『白菊石鹼』です。最良の原料が監製した『白菊石鹼』の特長は、第一使心地が好くて落がよく、入浴にも洗顔にも、決して其皮膚を荒らさないの、素顔は目の覺める様に奇麗に化粧の上の色艶は、一層増します故、二度「白菊石鹼」を使へば、もう、とても手放せなくなる絶秀無比の良品です。而して其



赤米ワシ

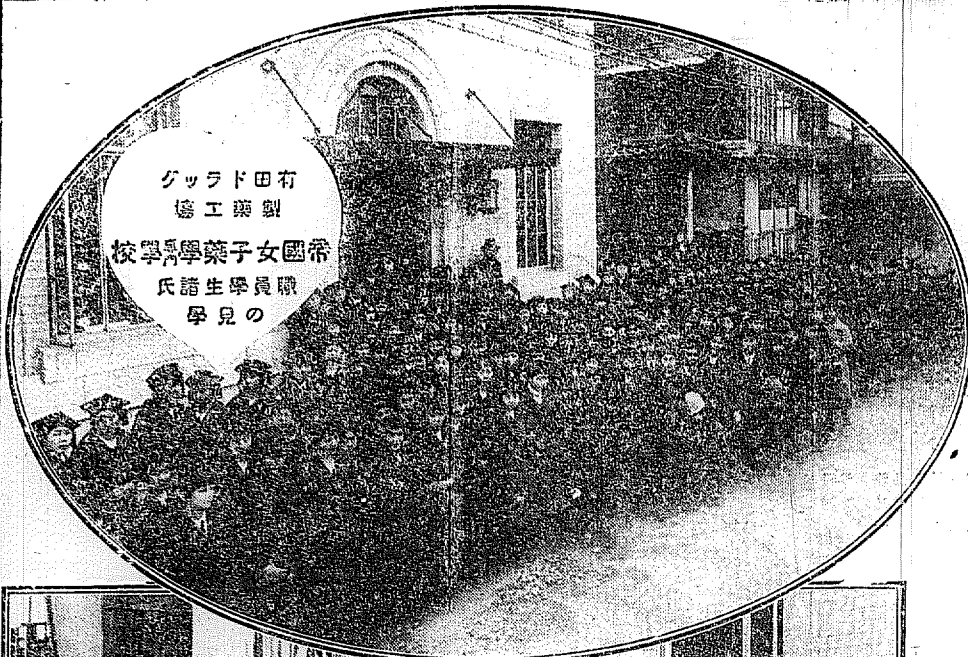


からだは
身体を強くする
葡萄酒は赤玉

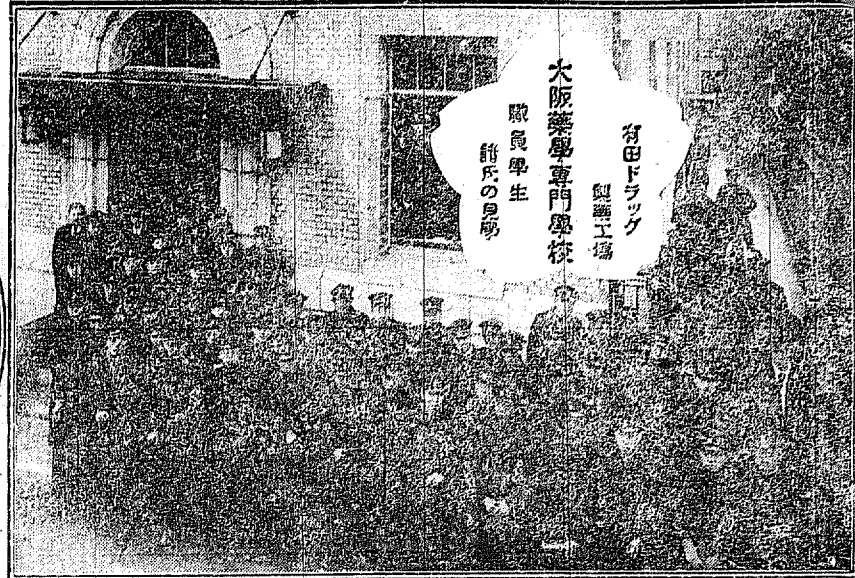
場工きよ持氣てしに潔清 すなを備設化浄め為の防豫菌微

微菌豫防の爲め浄化設備をなす

最新式設備を施せる製薬工場



グラッド田有
場工製
校學子女國帝
氏語生學員職
學兒の

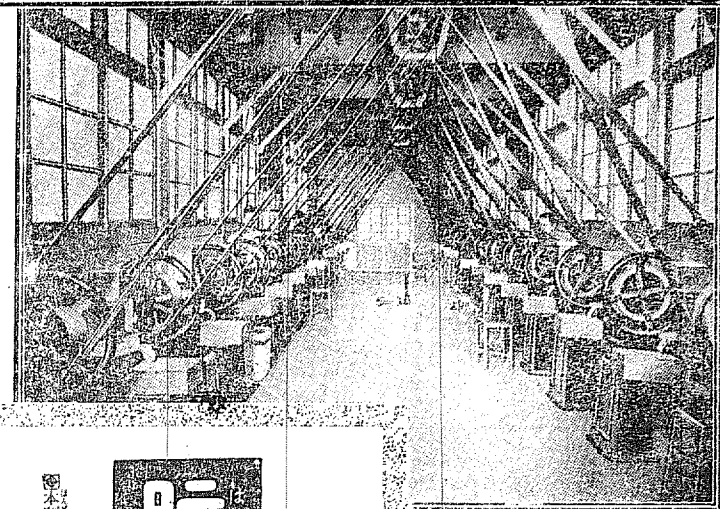


有田ドラッグ
製薬工場
大阪薬學専門學校
職員學生
諸氏の見學



有田ドラッグ
製薬工場
京都藥學専門學校
職員學生諸氏
の見學

常備本位の
有田ドラッグ製薬工場
熱源は火力を用ひず一切電力
熱源の繁複を避け浄化装置



上圖は
錠劑器參拾臺の作業場
下圖は
有田ドラッグ獨特の
電氣送風乾燥器
藥効を失はざる爲に
新式の装置

百圓進呈

肺病まくく
藥合請

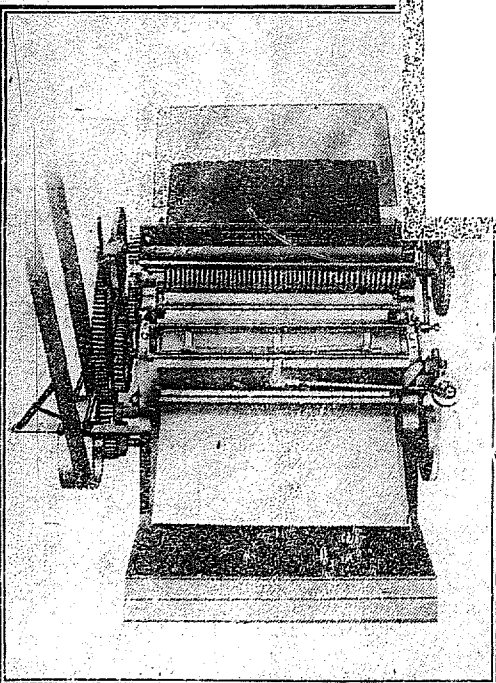
定價 参圓四角 拾圓 八圓 五圓
藥本劑の主藥は南洋羣島にて採取せられ

歐米醫科大學病院
帝國醫科大學病院

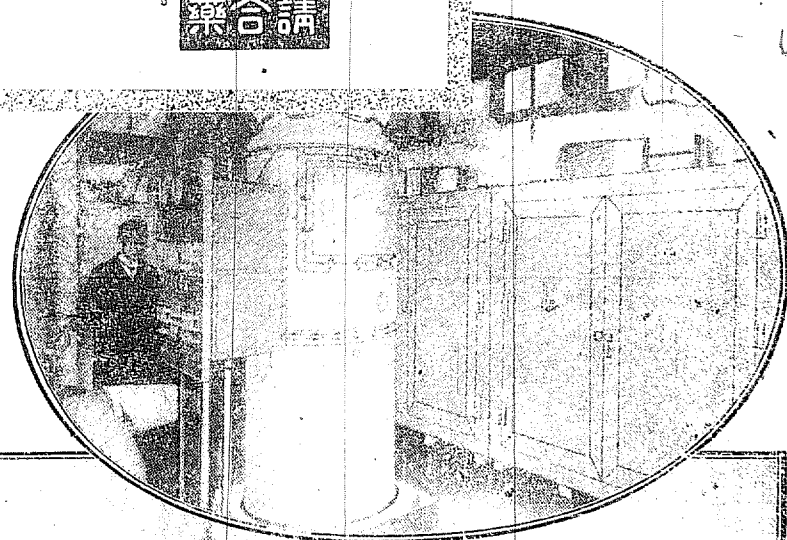
發 大阪心齋橋南詰南 有田ドラッグ
電話 南六五五番
元 東京日本橋區田町 有田ドラッグ
電話 大手一〇七七番

にセドドラッグあり
有田ドラッグ專賣所にて
有田音松鑑製を
お買取りあれ

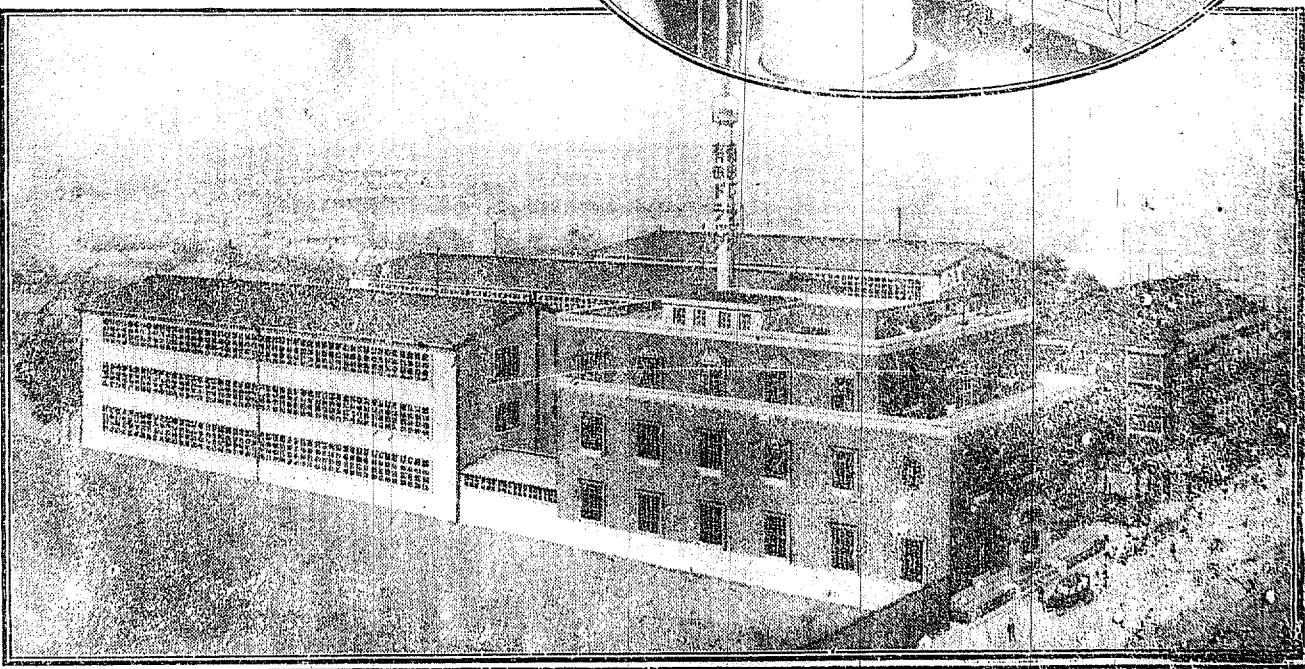
は圖下
器九製速高式新最



る限にのものな鮮新は藥
るらせ製てに場工るせ備完は藥良



火力を使用せず電熱のみを使用す



右
有田ドラッグ製薬工場
設計監督
工學博士 片岡安氏
工事請負者
合資會社 清水
〇〇

す用使をみの熱電ずせ用使を力火 場工藥製るせ施を備設式新

[illegible]